

# 学校では習わない誰かに話したくなる 夏から秋の星座の見どころ大紹介

## 秋の星座

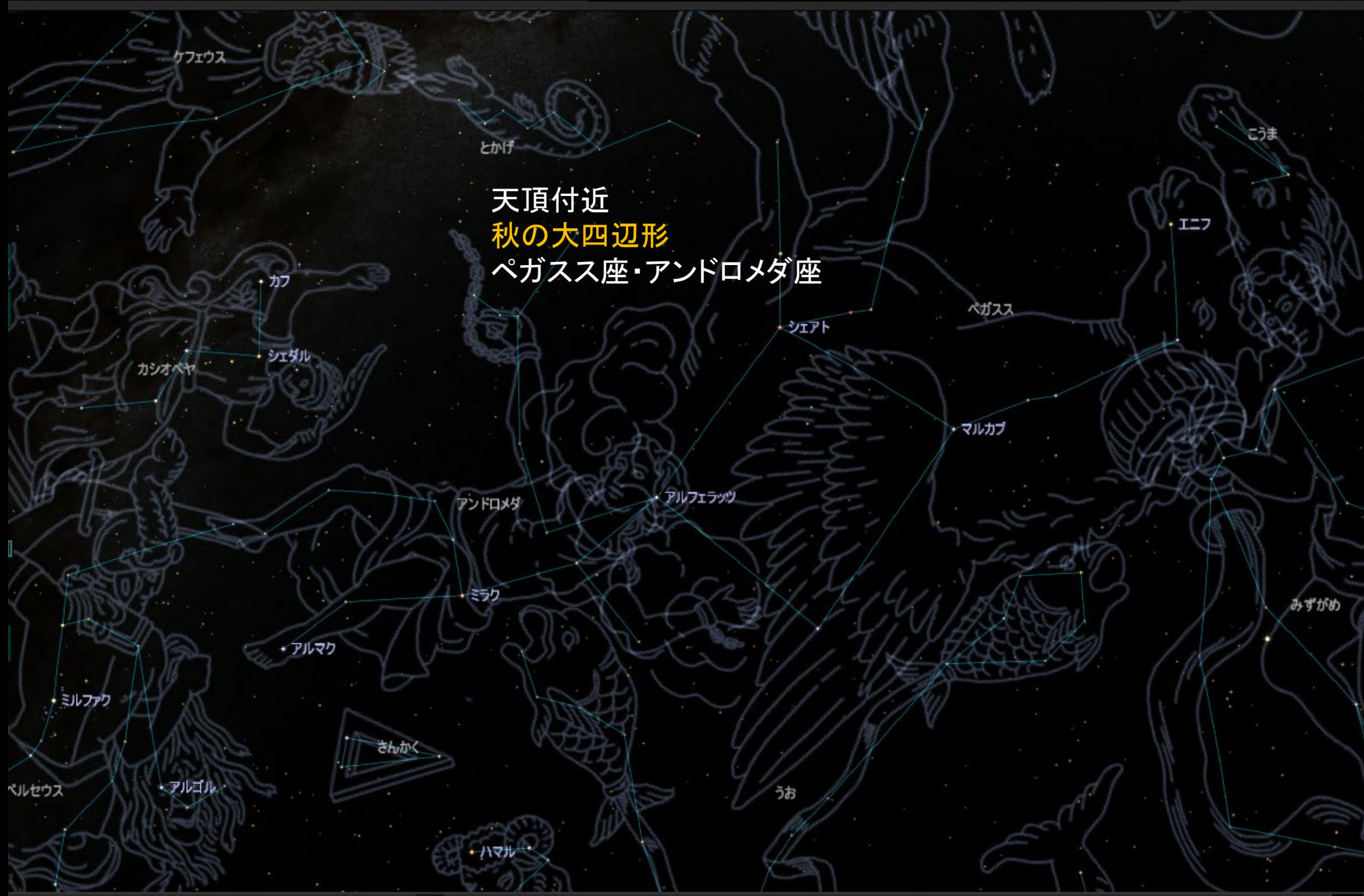
- ペガサス座(秋の四辺形)
- アンドロメダ座(王女様)
- ケフェウス座(王様)
- カシオペア座(おきさき様)
- ペルセウス座(勇者)
- くじら座(ケートス)

# 今から秋の大四辺形とその近くにある

- ・ペガスス座(秋の四辺形)
- ・アンドロメダ座(王女様)
- ・ケフェウス座(王様)
- ・カシオペア座(おきさき様)
- ・ペルセウス座(勇者)
- ・くじら座(ケートス)

について紹介します。

天頂付近  
秋の大四辺形  
ペガサス座・アンドロメダ座





# 北の空：ケフェウス座・カシオペヤ座・ペルセウス座





南の空に大きな化け物:くじら座

ギリシャ神話を紹介します。

昔むかし、あるところに王様とお妃(きさき)様がいました。  
王様の名はケフェウス、お妃(きさき)様の名はカシオペヤです。  
ある時カシオペヤは、娘(アンドロメダ)は人魚たち50人なんかよりも  
ずっと美しいと言いました。

秋の大四辺形のもうひとつの星座はアンドロメダ座です。  
すぐ近くにはカシオペヤ座も見つかります。  
アンドロメダ座は怪物に襲(おそ)われ金縛りのように身動きがとれな  
くなった王女の姿だと言われています。なぜでしょうか・・・？

神話の続きです。

これを聞いた海の神様の反応は・・・大激怒です。  
怒りのあまり、怪物ケートスを呼び寄せてこう言いました。  
「アンドロメダだと？ケートス、ちょっと襲ってこい」

海の神様、ちょっと何言ってるかわからないですが・・・

アンドロメダは怪物ケートスに襲われてしまいます。  
何が何だかわからないアンドロメダは、恐ろしさのあまり身動きがとれなくなっていました。

しかしその時、天馬ペガサスがケートスに体当たりしてきました。  
ペガサスには勇者ペルセウスが乗っていました。  
ペルセウスは「見たものすべてを石にする」という怪物、メドゥーサ退治の帰りでした。  
体当たりされ、怒り狂ったケートスは  
ペルセウス目掛けて襲(おそ)いかかりました。



ケートスの先制攻撃！！  
ケートスの体当たり！！  
ケートスのかみつき！！

しかし、ペルセウスはどんな攻撃も防ぐ盾(たて)を持っていました。  
女神アテナの「イージスの盾」と言われています。

ペルセウスはケートスの弱点を見つけました。

ペルセウスが「メドゥーサの顔」をケートスに見せると  
ケートスは石になって海の底に沈んでいきました。  
こうして、アンドロメダは無事に救われました。  
めでたし、めでたし。